令和 8 年度　精神科専門薬剤師認定試験　出題基準と範囲

対象疾患：ICD-10 の精神及び行動の障害（F00‐F99）または DSM-5-TR で分類される疾患 統合失調スペクトラム症、抑うつ症、双極症、不安症、睡眠・覚醒障害、神経発達症、神経認知症、物質関連症及び嗜癖症　等

（１） 精神疾患の診断と治療 各精神疾患について下記の項目が説明できる。

① 疫学、成因
② 診断基準
③ 評価尺度
④ 病態
⑤ 治療方法

（２） 精神疾患の薬物治療 各精神疾患の治療に使用される薬物について下記の項目が説明できる。

① 向精神薬の分類
② 使用目的
③ 薬理作用
④ 効果、副作用、相互作用、禁忌薬
⑤ 薬物動態、剤形、用法・用量

（３） 薬学的管理業務 各精神疾患患者に対する薬物治療について下記の項目が説明できる。

① 薬物治療の目的、効果、副作用とその対処法
② 副作用のモニタリングの方法や意義
③ 効果的な薬物治療の提案

（４） 精神疾患患者への心理教育、コミュニケーションスキルについて下記の項目が説明できる。

① 心理教育についての目的、理論、効果
② 心理教育の実践、評価

（５） 精神疾患と法律について下記の項目が説明できる。

① 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
　(ア) 精神保健指定医、特定医師の役割
　(イ) 入院形態、処遇
② 心神喪失者等医療観察法
③ 障害者総合支援

（６） 新薬について下記の項目が説明できる。

① 海外で既に使用されている薬剤
② 国内で治験が許可されている薬剤

＜参考図書等＞

1. 精神科薬物療法マニュアル　改訂２版（南山堂）
2. 専門医のための臨床精神神経薬理学テキスト（星和書店）
3. 最新の添付文書（主要項目、重要事項によく目を通し、理解しておくこと）

精神科薬物療法認定薬剤師認定試験問題例（見本）

【問題 1】大うつ病性障害の症状に関する記述について、正しいのはどれか。２つ選べ。

（ア）大うつ病性障害では、身体症状は認められない。
（イ）精神症状として、注意集中困難、思考・行動制止、自殺念慮などがある。
（ウ）幻覚も時にみられるが比較的稀である。
（エ）精神症状は午前より、午後のほうが重篤である傾向を示す。
（オ）特徴的な身体症状として、過眠、食欲増進、体重増加などがある。

【問題 2】内因性精神障害に分類される疾患として誤っているのはどれか。２つ選べ。

1．大うつ病
2．アルコール依存症
3．消化性潰瘍
4．統合失調症
5．双極性障害

【問題３】高プロラクチン血症と最も関係する脳部位について、正しいのはどれか。１つ選べ。

1．脳下垂体
2．黒質
3．縫線核
4．側坐核
5．線条体